

大きな志と夢を持つ次世代の若者が学問について、  
楽しく自由に討論できる場をめざし楽志塾とする

自己紹介； 生まれも育ちも佐渡島。中学までは朱鷺と昆虫少年。トンボや蝶々を  
手で掴まえることが出来る。今は、40年あまり毎年、新潟県の村上市に  
年、春と秋の2回は自分でイモリ取りに行く。1回、約1300匹。

例。イモリから学んだこと

1. イモリは冬眠している間に、自分の体に出来た癌を治す。  
(温熱療法と低温療法)
2. 冬眠している時のイモリ玉。仲間を認識し、春の生殖の準備。
3. 3億年の歴史を持つ(ヒトは20万年；1500倍の歴史を持つ)
4. 帰巢本能と地域言語を持つ
5. 発生生物学の王道の生き物(再生科学、胚発生、前成説と後生説。等)
6. 環境指標生物
7. イモリはサンショウウオと共に有尾類、カエルは無尾類。  
脊椎動物の進化のかなめ。ゲノム、種類 など

イモリはすごい生き物である。

考え方

自然を知り、生き物に学び、人を愛す

(私たちは地球上で生き、地震や火山、山林、水などの自然で生かされてお  
り、そこに住む1000万種の生物から学ばなければならない。彼らの歩いて  
来た道—ナチュラル・ヒストリーを知ることがわかれば、自ずとヒトの  
立ち位置も見えてくる。ヒトは地球上では新種である。戦争や環境破壊を  
している場合ではない。人と人のつながりとコミュニケーションは大切である。)

研究に対して

Passion over Passion (情熱を超えた熱情)

Idea and identity( 良いアイデアと自分のオリジナルな研究)

Effort and Effort (努力に勝る道は無し—アインシュタイン、野口英雄)

Continuity and Collaboration (継続性と仲間たち)